



しろくまナーシング

事業所における基本

【事業所名】しろくまナーシング

【作成年月日】2025年3月20日

【法人理念】「暮らしを守り、より豊かにするための資源・サービスを創造し社会に貢献する」を理念に、訪問看護事業から始め、児童発達支援、社会参加型通所介護、共生型放課後等デイサービス、自治体からの委託による通園通学事業などを展開している。医療必要度が高い方や通所する先のない方が利用できる施設を運営しており、「こんなサービスがあったらより良い生活ができるだろう」と思われる事業展開を心掛けている。

【支援方針】：障害児が日常生活における基本動作を習得し、及び集団生活に適應することができるよう、当該障害児の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行うものとする。

【営業時間】9時00分から15時00分

【送迎実施の有無】有 ご希望に応じて訪問看護を併用し送迎時の準備もします。

支援内容：しろくまナーシングは時間、空間、人、体験等が可能な安心して通える場所を目指し5領域を支援しています

「本人支援」

(a) 健康状態の維持・改善

(b) 生活のリズムや生活習慣の形成

(c) 基本的な生活スキルの獲得

- ・ **医療的ケア**：呼吸器管理、気管切開管理、酸素管理等の必要な医療的ケアを医師の診療情報提供書に基づいて看護師が実施します。
- ・ **健康管理**：看護師による健康状態のチェックを行います。
- ・ **日常生活における基本動作の習得**：食事や排せつ、入浴・更衣などの日常生活に必要な動作が生活のリズムとして整うように経験を重ねます。
- ・ **入浴**：医療ケアの状況を判断して看護師及び生活支援員の2～3名体制で入浴支援を行います。
機械浴ではなく簡易浴槽を用いて人の手による入浴を実施します。



「運動・感覚」

(a) 姿勢と運動・動作の向上

(b) 姿勢と運動・動作の補助的手段の活用

(c) 保有する感覚の総合的な活用

- ・ **リハビリテーション**：身体の成長が著しい学齢期から、成人期以降の



身体的安定及び介護者の負担軽減が出来るように身体拘縮、合併症予防のためのリハビリテーションを提供します。リハビリテーションの内容として、関節拘縮予防、ポジショニング、呼吸ケア（体位ドレナージ、医療機器：パーカッション・バイブレーションなど）を実施しています。

また、訪問看護と連携したリハビリテーションを取り入れていきます。

- **機能訓練**：基本動作や生活動作、姿勢・運動機能の向上をめざし、あそびや活動の中で心身を成長させる支援を実施します。



「認知・行動」

- (a) 認知の発達と行動の習得
- (b) 空間・時間、数等の概念形成の習得
- (c) 対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得

- **感覚運動遊び**：音楽あそび(楽器)・リズム体操等を行います。
- **感触遊び**：紙粘土、水風船、片栗粉、新聞ちぎり、ボール握りなど様々な感触を楽しみます。
- **制作**：季節ごとの行事や文化に触れ、五感を刺激しながら形・色・大きさなどを「自分で選ぶ」経験をしながら制作活動をおこないます。



「言語・コミュニケーション」

- (a) 言語の形成と活用
- (b) 言語の受容及び表出
- (c) コミュニケーションの基礎的能力の向上
- (d) コミュニケーション手段の選択と活用

- 文字盤視線入力や意思伝達スイッチの選定などのコミュニケーションツールを選択します
- 特別支援学校で作成している個別支援計画のコミュニケーション内容を基に ICT、アプリなどが継続して実施できるように個別療育に繋げていきます
- 視線や舌の動き、サイン等を用いて意思の伝達ができるように支援します



「人間関係・社会性」

- (a) 他者との関わり（人間関係）の形成
- (b) 自己の理解と行動の調整
- (c) 仲間づくりと集団への参加

- こども同士、健常者との関わりをもてることで、集団生活の適応力の向上をめざします
- 地域の子どもも遊びに来ることが可能な場としてしらくまナーシングを提供します



【移行支援】

- 卒業後の生活について家族への情報提供と相談支援を行います。
- 卒業後のディサービス入所にむけて相談員・関係機関と連携、情報共有を図ります。必要時は特別支援学校の実習場所として生活介護しらくまナーシングの情報共有を実施します。

【家族支援】

- ・連絡帳の記載・送迎時や面談等で情報共有を行います。
- ・必要時に、必要なサービスが受けられるようサポートします。
- ・学校と放課後等ディサービスの両立ができるように相談に応じています。
- ・関係機関と情報共有・連携を図り、必要時は兄弟姉妹へのケアの相談に応じます。

【地域連携支援】

- ・関係機関や他のサービス事業所と情報共有を行い連携を図ります。

【行事】

- ・活動の中でお誕生会や、ハロウィン、クリスマス会など季節にちなんだ活動を開催しています。
- ・季節に合わせた書初め、バレンタイン、お雛様制作など作品作りを実施しています。
- ・季節に合わせて桜の入浴剤やお花を浮かべるなど入浴の香りや色、感触が楽しめるようにしています。



【職員研修】

- ・新入職員に対する教育プログラムを作成し、OJT を中心として医療的ケアの技術の習得、知識向上を目的に研修を実施しています。
- ・週 1 ケースカンファレンスを実施しています。
- ・安全カンファレンス、防災訓練を毎月実施しています。